

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校 札幌ホテル・ウェディングカレッジ
設置者名	学校法人滋慶学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・ 通信制の 場合	実務経験のある 教員等による 授業科目の 単位数又は授 業時数	省令で定める 基準単位数又 は授業時数	配 置 困 難
商業実務課程	ウェディング科		1,260 時間	160 時間	
	ホテル科		330 時間	160 時間	
(備考) ホテル科は2年次のみ在籍の為2年次の実務経験のある教員の時間数を記載しています。					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ https://www.foods.belle.ac.jp/about/jyouhou
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校 札幌ホテル・ウエディングカレッジ
設置者名	学校法人滋慶学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ <https://www.foods.belle.ac.jp/about/jyouhou>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	玉川グループ代表	2019.4.1 ~ 2021.5.31	地域との連携
非常勤	(株)日本医歯薬研修協会 代表取締役社長	2018.6.1 ~ 2021.5.31	適切な情報収集
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校 札幌ホテル・ウエディングカレッジ
設置者名	学校法人滋慶学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>カリキュラム編成にあたり、年度の教育効果を総括するため、自己点検・自己評価を実施し、学校関係者評価委員会及び教育課程編成委員会にて、委員からご指摘いただいた点を基にカリキュラムを編成しその委員会の議事録をホームページで公表する。</p> <p>また、各科目の授業内容もシラバスをホームページにて公表する。</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.foods.belle.ac.jp/about/jyouhou
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ・評価は、定期試験及び臨時試験(論文・レポートを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で評価します。評価は「A～F」で行ない、D以上を合格とします。単位・履修の認定については卒業進級判定会議を開催し、審査の上、判定します。 ・定期試験の方法は、筆記・実技・レポートのいずれかで行ないます。 ・実習は総合的に評価を行います。 ・試験の欠席者には追試験を、不合格者には再試験をそれぞれ1度ずつ行います。 	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価は、定期試験及び臨時試験（論文・レポートを含む）、平素の学習状況、出席状況の3要素で評価します。評価は「A～F」で行ない、D以上を合格とします。 ・評価分布の判断は「G P A」制度を活用し、実施します。 <ul style="list-style-type: none"> 点数 100～90点=A評価 (GP=4.0) 点数 89～80点=B評価 (GP=3.0) 点数 79～70点=C評価 (GP=2.0) 点数 69～60点=D評価 (GP=1.0) 点数 59点以下=F評価 (GP=0.0) ※出席が7割に満たない場合はE評価（特別補講を実施） ・G P A = (当該科目の単位数×各授業で得たG Pの合計) / (当該学期に評価を受けた各授業科目の単位数の合計) 	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.foods.belle.ac.jp/about/jyouhou
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>教育課程の定めるところにより、学年ごとに修了すべき教科目について、履修認定の要件として該当教科科目の7割以上を出席していること、試験に合格している者に対して該当教科科目の修了を認定する。</p> <p>学校長は前項の認定を行うために、学校長及び学校長が指名した者より構成される卒業進級判定会議を開催し、審査の上判定する。この場合、所定の教科課目及び所定の単位数または授業時間数を履修し、その成果が修了認定すべきものと認められる場合、卒業または進級認定をする。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.foods.belle.ac.jp/about/jyouhou

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校 札幌ホテル・ウエディングカレッジ
設置者名	学校法人滋慶学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.foods.belle.ac.jp/about/iyouhou
収支計算書又は損益計算書	https://www.foods.belle.ac.jp/about/iyouhou
財産目録	https://www.foods.belle.ac.jp/about/iyouhou
事業報告書	https://www.foods.belle.ac.jp/about/iyouhou
監事による監査報告（書）	https://www.foods.belle.ac.jp/about/iyouhou

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務分野		商業実務課程	ウェディング科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1710 単位時間／98 単位	120 時間	1650 時 間	480 時 間	0 時間	0 時間
			2250 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160 人		42 人	0 人	3 人	23 人	26 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・授業計画は、養成目的と到達目標を鑑み毎年見直しを図っています。見直しにあたっての基準として社会ニーズの変化や年2回開催される教育課程編成委員会の意見等を参考にしています。
成績評価の基準・方法
（概要） ・評価は、定期試験及び臨時試験（論文・レポートを含む）、平素の学習状況、出席状況の3要素で評価します。評価は「A～F」で行ない、D以上を合格とします。 ・定期試験の方法は、筆記・実技・レポートのいずれかで行ないます。 ・実習は総合的に評価を行います。 ・試験の欠席者には追試験を、不合格者には再試験をそれぞれ1度ずつ行います。
卒業・進級の認定基準
（概要）修了すべき教科科目の授業に7割以上出席しており、試験に合格しているものは科目終了の認定をうけ、卒業進級判定会議にてその成果終了認定すべきものと認められた者を卒業認定します。
学修支援等

(概要) 担任などの教職員が教育・就職・学費・学校生活のあらゆる面において支援を実施しています。また、担任が学生との定期的に個別面談を実施し、学修状況や要支援事項の確認を行ない、必要に応じて保護者とも連携しています

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
3人 (100%)	0人 (0%)	3人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) ホテル、ゲストハウス、専門式場、ドレスショップ、フラワーショップ等			
(就職指導内容) 担任と学生支援センタースタッフとの連携によりサポートを行います。毎週就職についての授業があり、担任から業界についての必要な知識を得ます。また、日常から業界の方の授業が多く、実習・演習や講話を通し就職に対する意識を高めていきます。			
(主な学修成果（資格・検定等））製菓衛生師国家資格合格率 100%			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
21人	2人	9.5%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制、少人数クラスでのクラス運営。スクールカウンセラーによる相談窓口開設、補習、学費支援制度		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務分野		商業実務課程	ホテル科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1935 単位時間／111 単 位	150 時間	1455 時間	540 時間	0 時間	0 時間
			2145 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		3 人	0 人	3 人	23 人	26 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) ・授業計画は、養成目的と到達目標を鑑み毎年見直しを図っています。見直しにあたっての基準として社会ニーズの変化や年2回開催される教育課程編成委員会の意見等を参考にしています。
成績評価の基準・方法
(概要) ・評価は、定期試験及び臨時試験(論文・レポートを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で評価します。評価は「A～F」で行ない、D以上を合格とします。 ・定期試験の方法は、筆記・実技・レポートのいずれかで行ないます。 ・実習は総合的に評価を行います。 ・試験の欠席者には追試験を、不合格者には再試験をそれぞれ1度ずつ行います。
卒業・進級の認定基準
(概要) 修了すべき教科科目の授業に7割以上出席しており、試験に合格しているものは科目終了の認定をうけ、卒業進級判定会議にてその成果終了認定すべきものと認められた者を卒業認定します。
学修支援等
(概要) 担任などの教職員が教育・就職・学費・学校生活のあらゆる面において支援を実施しています。また、担任が学生との定期的に個別面談を実施し、学修状況や要支援事項の確認を行ない、必要に応じて保護者とも連携しています。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (100%)	0人 (%)	0人 (%)	0人 (%)
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容） 担任とキャリアセンタースタッフとの連携によりサポートを行います。毎週就職についての授業があり、担任から業界についての必要な知識を得ます。また、日常から業界の方の特別授業が多く、デモンストレーションや講話を通し就職に対する意識を高めていきます。			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項） 開講2年目の学科の為、卒業実績はありません			

中途退学の現状（前年度在籍実績無い為記載数字なし）		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3人	0人	0%
（中途退学の主な理由）なし		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制、少人数クラスでのクラス運営。スクールカウンセラーによる相談窓口開設、補習、学費支援制度		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	施設設備整備費(年間)	総合演習費 (年間)	諸費用 (年間)	合計
ウェディング科	100,000円	400,000円	250,000円	350,000円	220,000円	1,320,000円
ホテル科	100,000円	400,000円	250,000円	350,000円	220,000円	1,320,000円
修学支援（任意記載事項）						
特待生制度、グループ校学費減免制度、兄弟姉妹学費減免制度あり						

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.foods.belle.ac.jp/about/jyouhou 学校ホームページの「情報公開」ページにて公開しています。		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 自己点検・自己評価に基き、年1回6月に学校関係者評価委員会を実施する。本委員会は学校の理念を踏まえた上で教育機関としての学校のあり方を客観的に評価し助言を行うことで、適切な教育提供に結びつくようにする。この助言を受け学校はPDCAサイクルに基き分析・検証を行い学校運営の改善に取り組むことを基本方針とする。委員は業界団体・企業・卒業生・高等学校・近隣代表とする。評価結果は毎年HPで公表し、学校運営の改善に役立てる。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
フラワーデザイン 紫紺代表	2019年4月1日～2021年3月31日	業界
札幌市中央区第四町内会会長	2019年4月1日～2021年3月31日	地域・近隣
ウェディング科2年生保護者	2019年4月1日～2021年3月31日	保護者
THE HANY ドレススタイリスト	2019年4月1日～2021年3月31日	業界(姉妹校卒業生)
北海道芸術高等学校 キャンパス長	2019年4月1日～2021年3月31日	高等学校
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.foods.belle.ac.jp/about/jyouhou 学校ホームページの「情報公開」ページにて公開しています。		
第三者による学校評価(任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.foods.belle.ac.jp/
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請の場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	専門学校 札幌ホテル・ウェディングカレッジ
設置者名	学校法人滋慶学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		0人	0人	0人
内 訳	第Ⅰ区分	0人	0人	
	第Ⅱ区分	0人	0人	
	第Ⅲ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				0人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）				
年間	0人	前半期	0人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。